



# 環の町 芳賀 124

## 生ごみ減量化3つの作戦

暦の上では「秋」ですが、まだまだ暑い日は続くのでしょうか？ 野菜くずや果物の皮など、生ごみの多い季節も続いています。

生ごみの減量化といえば、①生ごみ回収堆肥化事業(祖母井、下原新町、和泉ニュータウン)で年間約120トン、②EMによる家庭での生ごみ堆肥化で年間約100トンの減量化を行っていますが、今年度から、③機械式生ごみ処理機の設置費補助金の交付も開始しました。

機械式の生ごみ処理機は、主に電気で生ごみを分解または乾燥させるもので、処理した生ごみは肥料として使用できます。また「消滅式」と呼ばれるものもあり、これは生ごみを水と二酸化炭素に分解、消滅させるものです。

補助金額は、処理機の購入費の2分の1、上限3万円です。詳しくは町環境対策課までお問い合わせください。

生ごみ回収(対象地域のみ)、EM堆肥化に加えて機械式処理機と選択肢が増えました。もちろん「ごみを出さない」が第一ですが、各家庭に合った方法で、生ごみの減量化に取り組んでみませんか？

環境対策課環境対策係 【☎028(677)6041】

# 工業団地から こんにちは

芳賀工業団地  
連絡協議会に登録している  
企業をご紹介します。



## 日泉化学株式会社 テクノセンター栃木

住 所 芳賀町芳賀台85  
電話番号 028(677)4808  
従業員数 35人  
本社住所 愛媛県新居浜市西原町2-4-34  
ホームページアドレス  
<http://www.nissen-chem.jp/>

日泉化学(株)は、昭和26年に創業。平成3年から現在の社名となり、芳賀工業団地には、平成3年にテクノセンター栃木が進出しました。

①自動車内外装品を製造する「自動車部品事業」②原料メーカー委託の合成樹脂原料の製造を行う「原料部門」③包装資材、農業資材などの製造を行う「包装・農材・シート部門」④電子工業用薬品・材料の製造販売を行う「情報電子部門」の4部門で国内外に事業展開しています。

テクノセンター栃木は、自動車部品事業として、ドアやトランクルームなどの内装材やドアバイザーなどの外装品の営業および設計開発を行っています。

お話を伺った難波江部長は「創業時から合成樹脂製品を扱っています。現在は、設計段階から製品の軽量化、リサイクル性や有害物質を含まない部品の使用などに配慮し、地球に優しい『グリーン設計』を推進しています。植物由来の素材使用などの検討も行っていきます。私も含め、愛媛県から来ている社員が多くいますが、芳賀町は環境の良いところですね」と話してくださいました。



自動車事業部  
事業戦略室部長  
難波江雪弘さん

## 高齢者のこころを理解する 健康ライフ

いつかはだれもが高齢者となります。家族のため・将来の自分のため、高齢者の性格の変化や不安を理解しましょう。

ストレスの感じ方は人により異なりますが、配偶者や子どもとの死別は大きなストレスとなります。こんな時は安易に励ますのではなく、悲しみや辛さに寄り添うことが重要です。



また、家族がいても孤独感をもち、死をほのめかしたり、不平不満をこぼす人もいます。

こういった人には、寂しいという思いを理解し、努めて話し相手になりたいものです。



高齢者は、仕事・経済力・健康・子育てなど生きがいとなるものを失っていき、無気力になりやすくなります。それを非難したり会話を避けるのではなく、今までの人生経験に敬意を表し、若い世代の方から歩み寄る姿勢が必要です。

健康福祉課地域包括支援センター係【☎028(677)6015】

## こども書道教室

生涯学習センター  
【☎028(677)0306】  
活動日 毎週土曜日  
1班 14:30~15:30  
2班 15:50~16:50  
活動場所 生涯学習センター



## 集まれ！ 趣味仲間

町内の生涯学習サークルの活動を紹介します。

水沼洗先生のご指導のもと、町内の各小学校の子どもたちが、毎週土曜日の午後、生涯学習センターで書を楽しみながら熱心に学習しています。

当教室は3年前に発足し、子どもたちの中には二段に昇格しコンテストなどで入賞している子もいます。

水沼先生は80歳の高齢ですが、バイタリティーがあり人格円満で、一人ひとりに懇切丁寧に指導し、子どもたちから尊敬され親しまれています。先生は、「書道は人間修養の一方法である。本質を踏まえ、あいさつや物を大切にすること、基本的生活習慣の形成が重要である」と子どもたちに教えています。

(文・保護者会)